



2016年3月期 第2四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2015年10月30日

2016年3月期 第2四半期決算概要

2016年3月期より、経営者が意思決定する際に使用する指標（以下Non-GAAPベース）を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他の調整項目を控除したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

2016年3月期 第2四半期 業績サマリー

第2四半期の主な半導体売上高増減背景

■半導体売上

汎用向け事業でやや弱含みとなったが、ほぼ想定どおり

■自動車向け事業

自動車市場は国内およびASEANが引き続き弱含むものの、当社自動車向け事業は第1四半期の減収からの反動があり、前年同期比および前四半期比で増収

■汎用向け事業

OA・ICT向けは季節性や一時的な受注増により増収となったが、非注力製品や産業機器向けの減収があり、汎用向け事業全体としては、前年同期比および前四半期比で減収

第2四半期の主な利益増減背景

■売上総利益率

前年同期比では主に費用削減、汎用製品の原価改善及び為替要因、前四半期比では増収に伴う利益増と非注力事業撤退に伴う最終在庫作り貯め等の一時的な改善要因があり、前年同期比および前四半期比ともに改善

■営業利益

売上総利益率改善により前年同期比では増益だが、前四半期比では期末の費用集中や成長分野のR&D^{*1}強化もあり、減益

^{*1} R&D : 研究開発費

2016年3月期 第2四半期 決算概要

売上高はほぼ想定ライン、
売上総利益率は前年同期比・前四半期比・予想比全てで向上したが、一時的な増加要因も含む

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下を四捨五入

(億円)	2015年3月期	2016年3月期					上期
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	前年同期比	前四半期比	予想比	
売上高	2,077	1,793	1,814	△13%	+1%	△2%	3,607
半導体売上高	1,996	1,745	1,770	△11%	+1%	△1%	3,515
売上総利益率	39.3%	44.5%	47.1%	+7.8Pts.	+2.6Pts.	+4.0Pts.	45.8%
営業利益(率)	235 (11.3%)	324 (18.0%)	307 (16.9%)	+72 (+5.6Pts.)	△16 (△1.1Pts.)	+41 (+2.5Pts.)	631 (17.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	299	275	+136	△23	+134	574
EBITDA*1	400	477	463	+62	△15	+41	940
1 米ドル	102円	120円	123円	21円円安	3円円安	1円円安	122円
1 ユーロ	138円	131円	137円	1円円高	6円円安	2円円安	134円

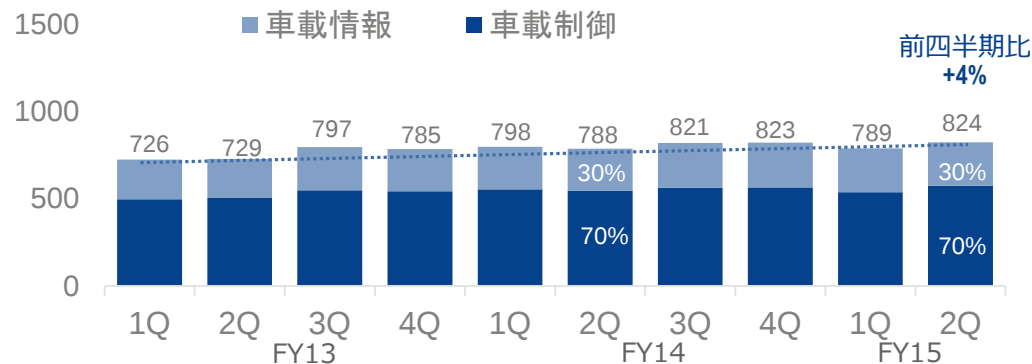
*1 EBITDA：営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額

半導体売上高の事業別推移(Non-GAAPベース*1)

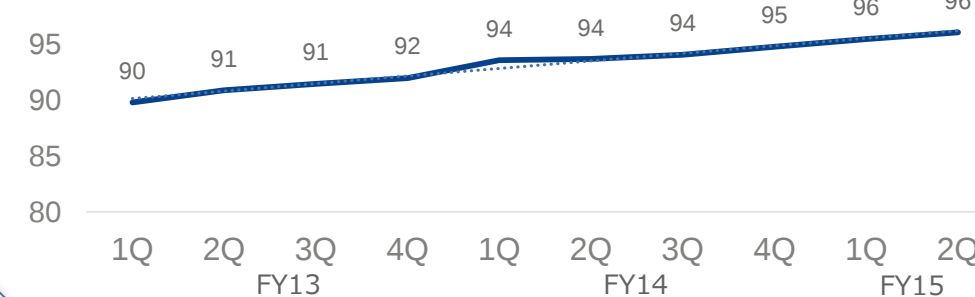
自動車向け事業は第1四半期での減速の反動があり、前年同期比・前四半期比で増収、
汎用向け事業は構造改革影響や産業機器の減速などにより、前年同期比・前四半期比で減収

自動車向け事業

売上高（億円）

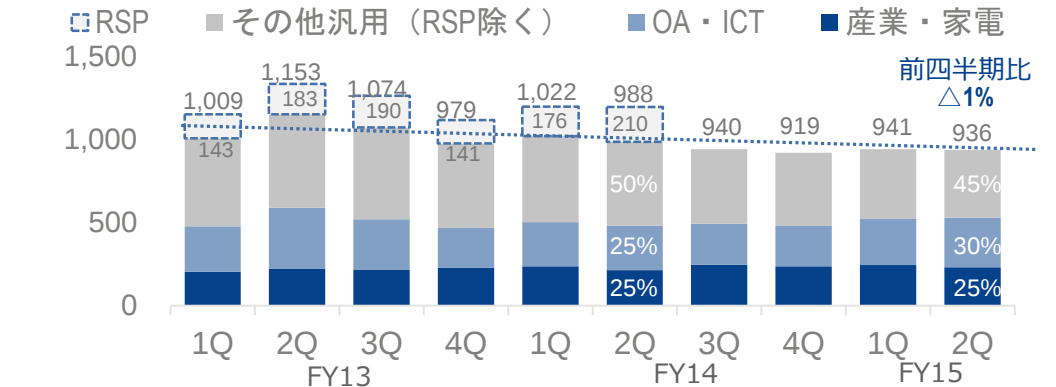


注力事業比率（%）

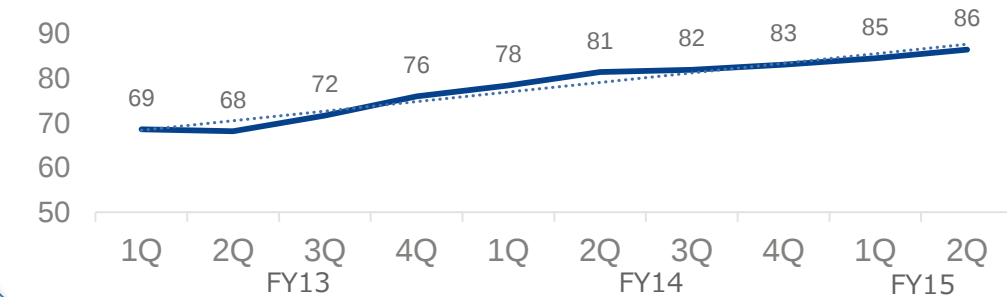


汎用向け事業

売上高（億円）



注力事業比率（%）

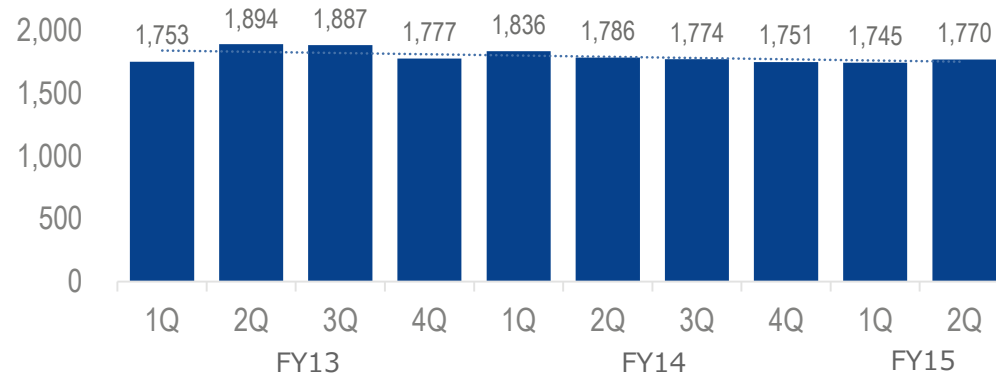


*1 Non-GAAPベース：RSP(ルネサスエスピードライバ)にかかる売上および損益の影響、LTEモデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除

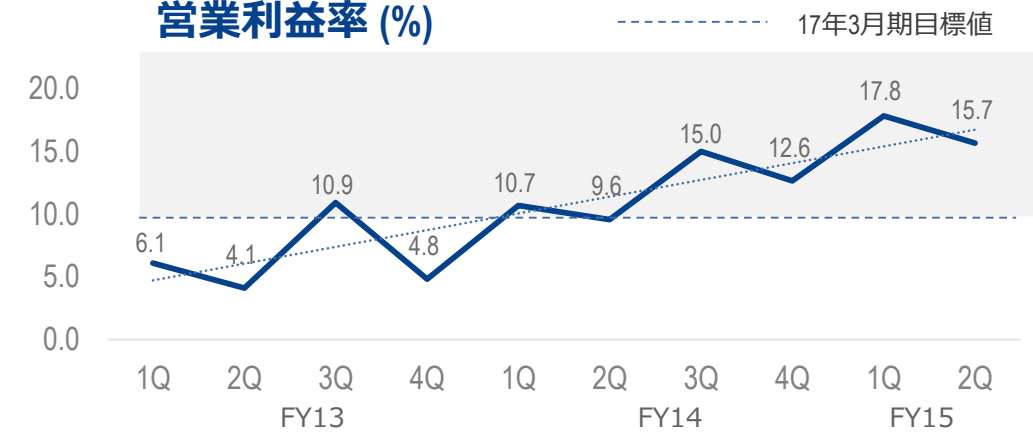
四半期業績推移 (Non-GAAPベース)

一時的な改善要因により、売上総利益率は向上

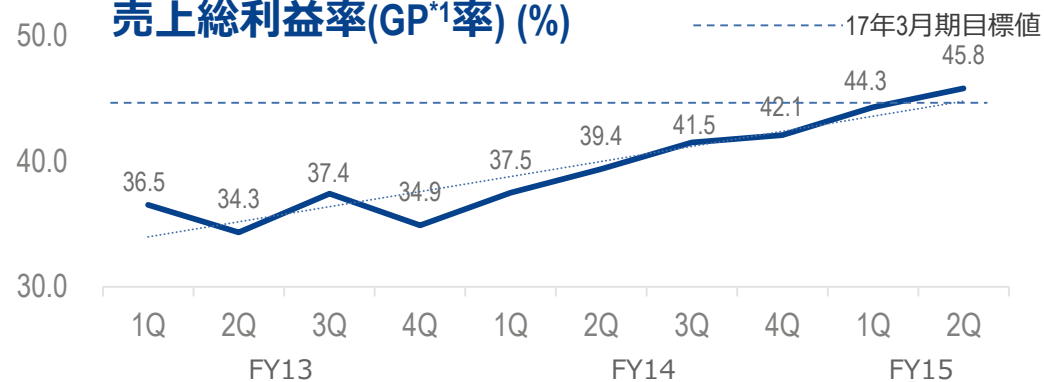
半導体売上高 (億円)



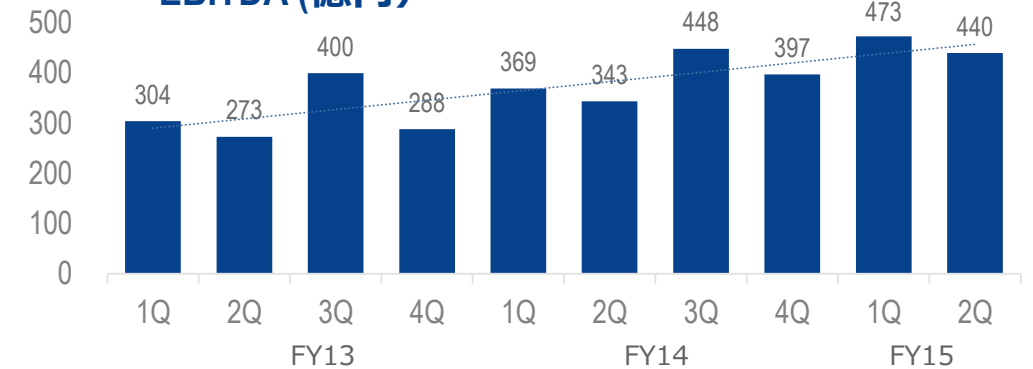
営業利益率 (%)



売上総利益率(GP*1率) (%)



EBITDA (億円)

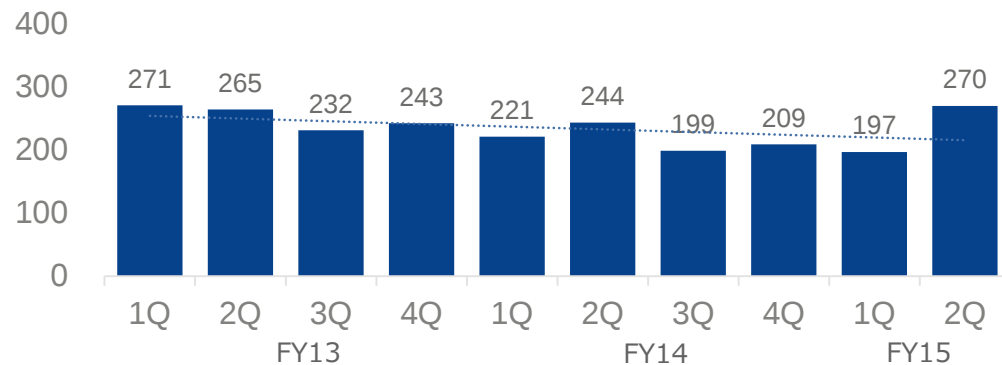


*1 GP : Gross Profit

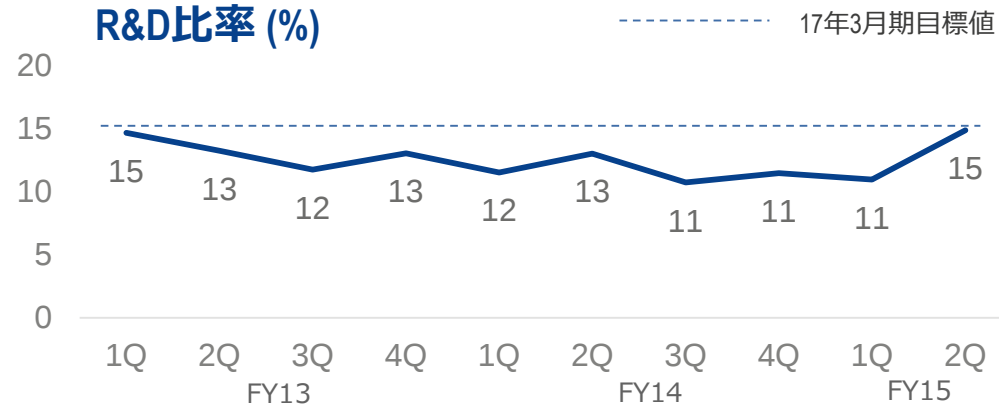
R&D, SG&A推移 (Non-GAAPベース)

注力分野の開発強化によりR&Dは前四半期比増、SG&A*¹は前四半期比横ばい

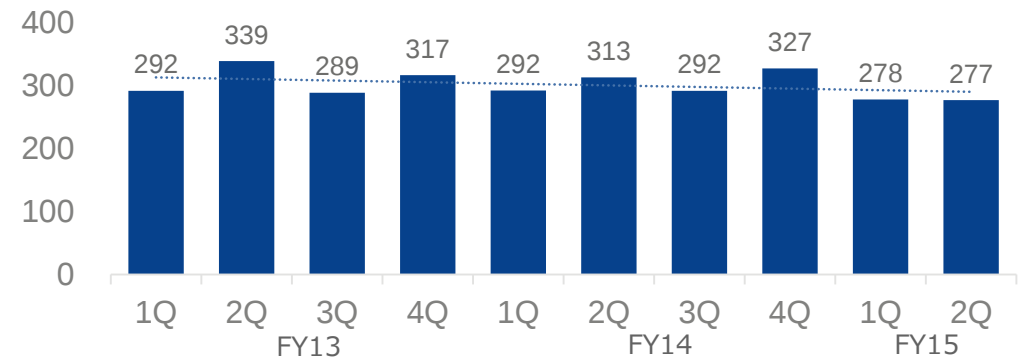
R&D (億円)



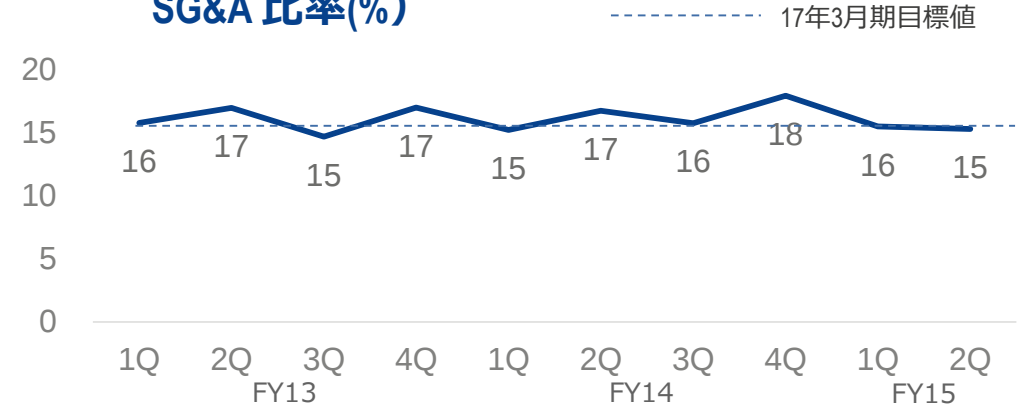
R&D比率 (%)



SG&A (億円)



SG&A 比率 (%)



*1 SG&A : 販売費および一般管理費

2016年3月期 第3四半期業績予想

2016年3月期 第3四半期 業績予想サマリー

第3四半期の主な半導体売上高増減背景

- 半導体売上
前四半期比で10%の減収となる見込み
- 自動車向け事業
自動車市場は引き続き国内、ASEANの販売不振により先行き不透明
車載制御向けは前四半期比で1桁半ばの減収を見込む
車載情報向けは市販カーナビやカーオーディオ関連の不振により前四半期比で10%台前半の減収を見込む
- 汎用向け事業
OA・ICT向けにおける第2四半期の一時的な増収の反動減やその他汎用品による非注力からの撤退継続により、前四半期比で10%台半ばの減収を見込む

第3四半期の主な利益増減背景

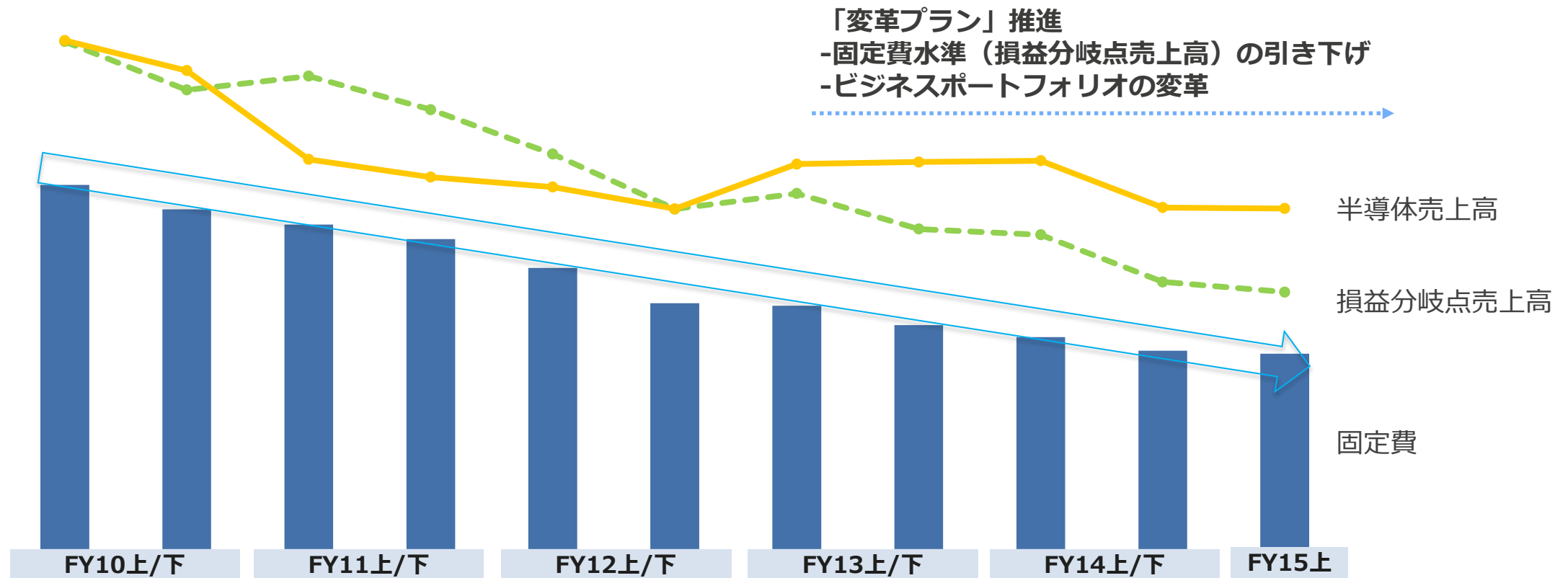
- 売上総利益率
減収や為替影響および、上期に貢献した一時的な売上総利益増加要因の反動減により、前四半期比8.8ポイントの低下を見込む
- 営業利益
第3四半期は、期末の費用集中の影響がなくなるが、売上総利益の低下に伴い前四半期比減益を見込む

2016年3月期 第3四半期 業績予想

(億円)	2015年3月期	2016年3月期				
	第3四半期	第2四半期	第3四半期	前年同期比	前四半期比	9カ月累計
売上高	1,919	1,814	1,630	△15.1%	△10.1%	5,237
半導体売上高	1,774	1,770	1,590	△10.4%	△10.2%	5,105
売上総利益率	40.9%	47.1%	38.4%	△2.6Pts.	△8.8Pts.	43.5%
営業利益(率)	295 (15.3%)	307 (16.9%)	140 (8.6%)	△155 (△6.8Pts.)	△167 (△8.3Pts.)	771 (14.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	382	275	55	△327	△220	629
EBITDA	465	463	295	△170	△168	1,235
1 米ドル	110円	123円	117円	6円安	7円高	120円
1 ユーロ	140円	137円	130円	10円高	7円高	133円

変動対応力

ボラティリティが低い市場へのシフトを進めると共に、
固定費削減により損益分岐点を引き下げ、市場変動への対応力を強化



APPENDIX

GAAPとNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前4四半期	第1四半期	第2四半期
半導体売上高 (GAAP) ①	1,896	2,077	2,076	1,918	2,012	1,996	1,774	1,751	1,745	1,770
RSP ^{*1} ②	△143	△183	△190	△141	△176	△210	-	-	-	-
半導体売上高 (Non-GAAP) ①+②	1,753	1,894	1,887	1,777	1,836	1,786	1,774	1,751	1,745	1,770
売上総利益 (GAAP) ①	727	779	840	752	805	816	786	781	798	855
RSP②	△52	△66	△69	△44	△60	△64	-	-	-	-
作り貯め ^{*2} ③	-	△28	△36	△58	△26	△17	△17	△14	△4	△23
売上総利益 (Non-GAAP) ①+②+③	675	685	736	650	719	735	769	767	794	832
営業利益 (GAAP) ①	98	109	300	170	270	235	295	244	324	307
RSP②	△38	△47	△49	△22	△39	△40	-	-	-	-
LTEモデム事業 ^{*3} ③	52	48	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め④	-	△28	△36	△58	△26	△17	△17	△14	△4	△23
営業利益 (Non-GAAP) ①+②+③+④	112	81	215	90	205	179	278	230	320	284
R&D (RSP)	11	15	16	18	18	19	-	-	-	-
SG&A (RSP)	3	3	4	4	3	5	-	-	-	-
R&D (LTEモデム事業)	43	38	-	-	-	-	-	-	-	-
SG&A (LTEモデム事業)	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 RSP：2014年10月1日に譲渡したルネサスエススピードライバの売上高および営業損益

*2 作り貯め：工場再編に伴う、EOL製品の作り貯めにかかる損益

*3 LTEモデム事業：2013年10月1日に譲渡したLTEモデム事業にかかるR&DおよびSG&A

バランスシートの状況

自己資本比率は40%台まで改善

(億円)	2015年3月末	2015年6月末	2015年9月末
総資産	8,401	8,518	8,664
うち 現金及び現金同等物	3,437	3,687	3,881
うち たな卸資産	1,114	1,131	1,166
負債合計	5,282	5,070	5,060
うち 有利子負債	2,597	2,594	2,548
株主資本	2,778	3,077	3,353
純資産合計	3,119	3,447	3,604
D/Eレシオ(グロス)	0.84倍	0.76倍	0.71倍
自己資本比率	36.8%	40.2%	41.3%

(注) ①現金及び現金同等物：「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債：「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

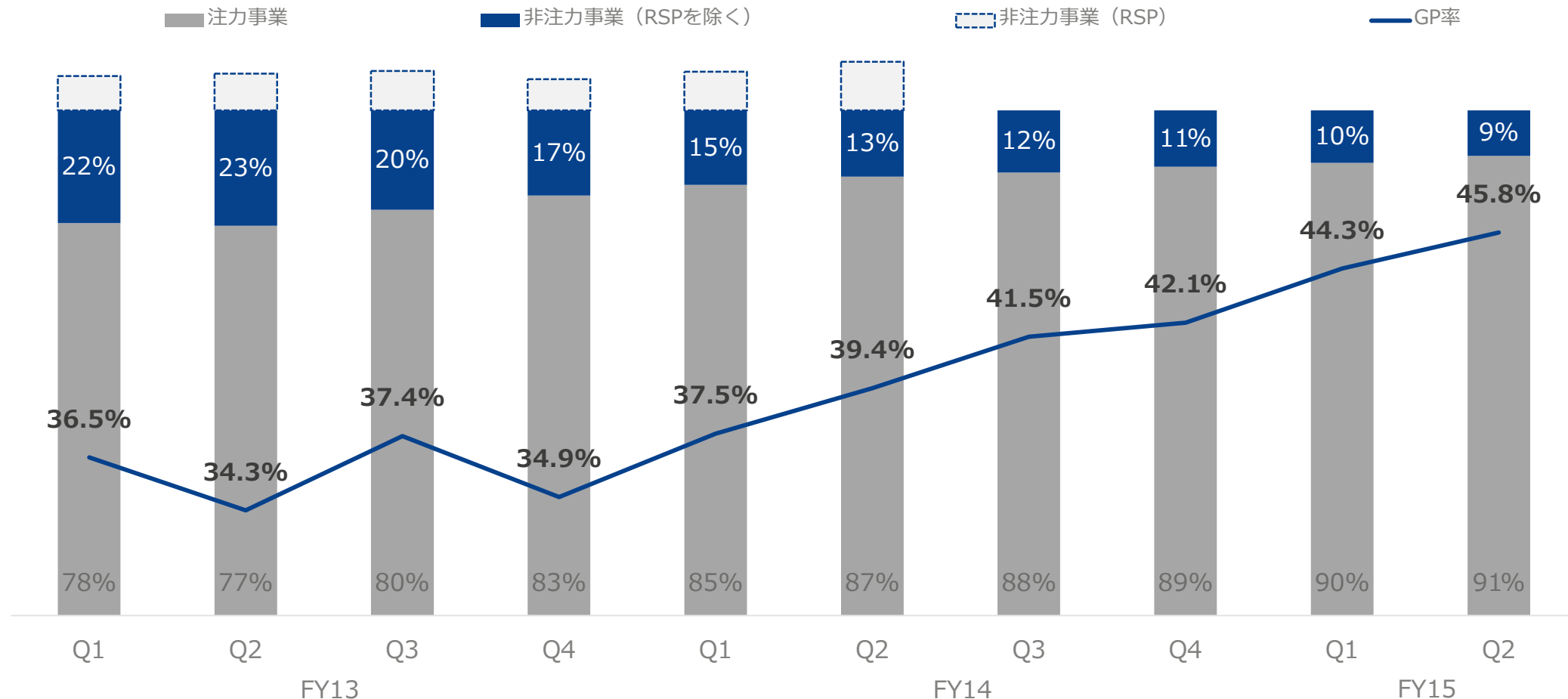
③自己資本：「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス)：有利子負債／自己資本

キャッシュ・フローの状況

(億円)	2015年3月期				2016年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	20	495	410	242	315	451
投資活動による キャッシュ・フロー	△109	△149	72	△80	△54	△120
フリー・キャッシュ・ フロー	△89	347	482	162	262	331

注力・非注力事業売上比率推移とGP率推移 (Non-GAAPベース)

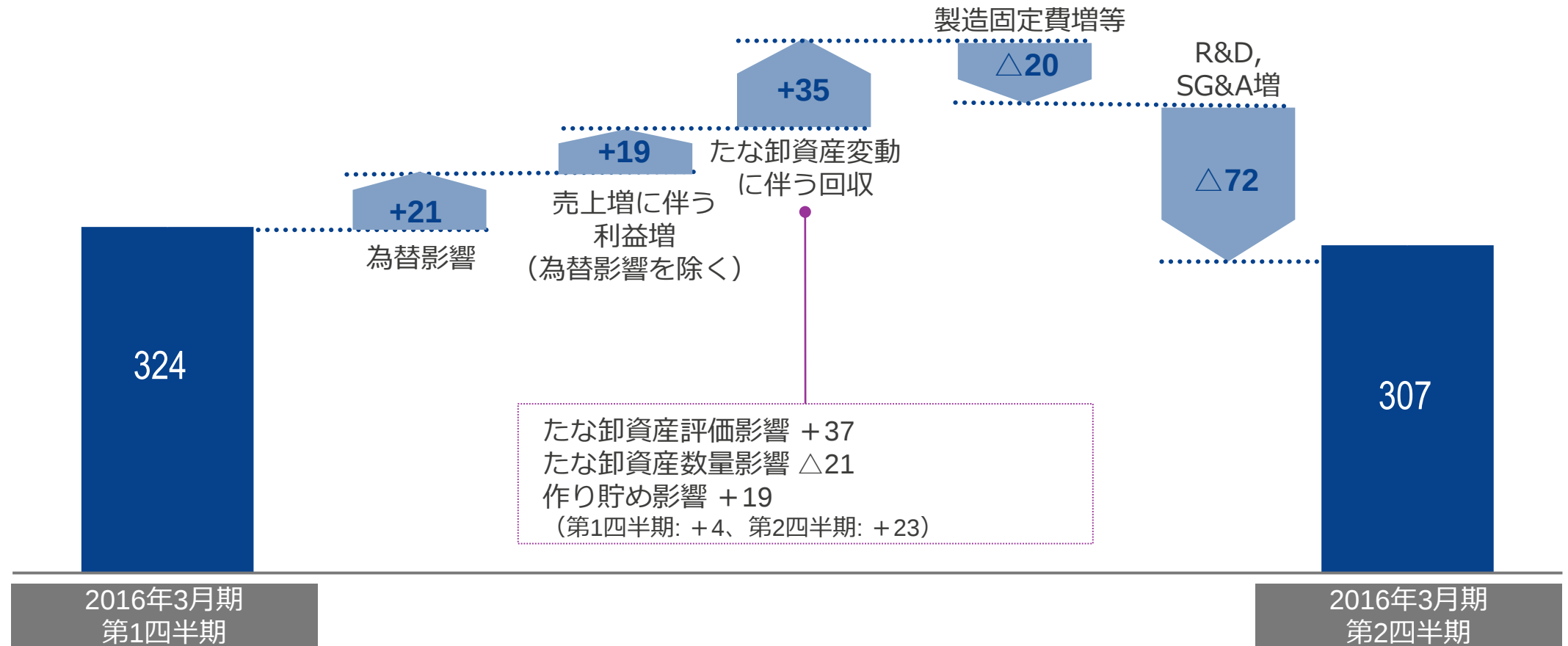
構造改革を進めGP率を引き続き改善し、市場変動に耐性のある体質へ変革



2016年3月期 第2四半期 営業利益

前四半期比 (億円)

- 上期末の費用集中やR&Dの注力投資により、前四半期比17億円減

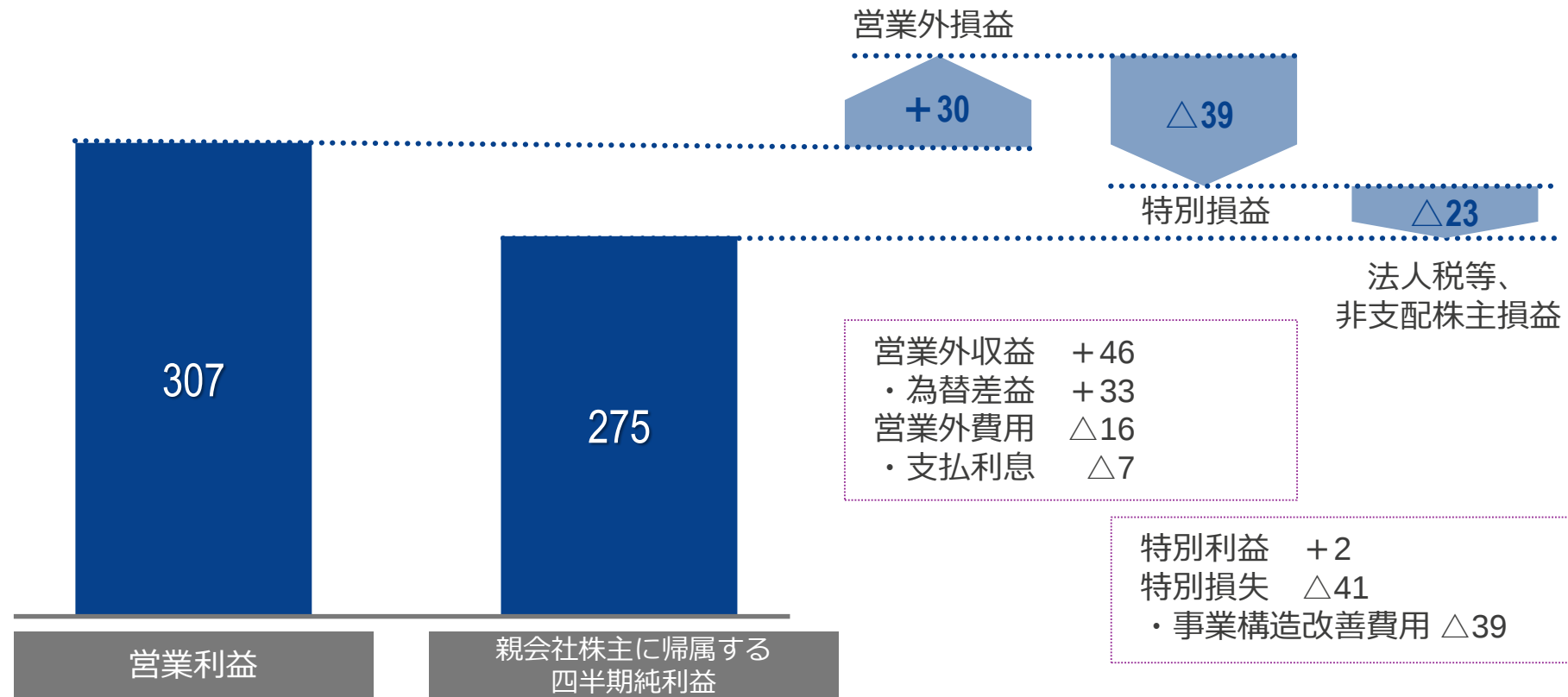


2016年3月期 第2四半期

親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

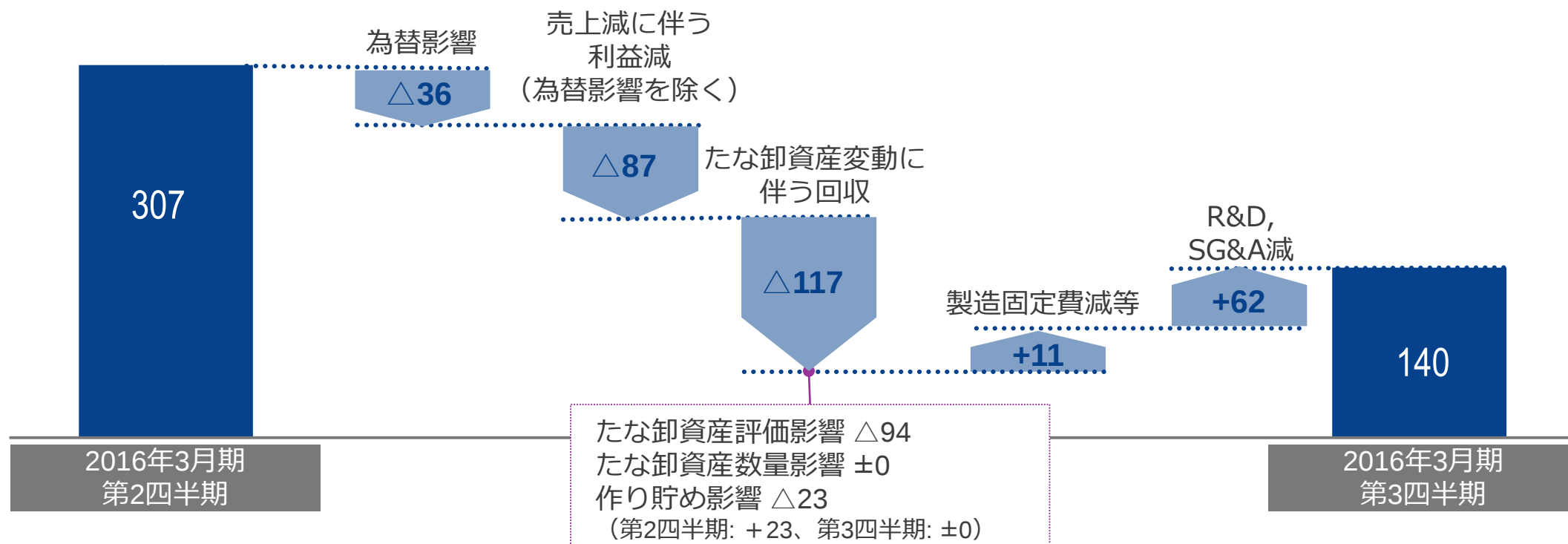
- 第2四半期は為替差益に加え、特別損失が想定を下回ったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は275億円の黒字



2016年3月期 第3四半期 営業利益見通し

前四半期比 (億円)

- 上期末の費用集中の反動があるものの、たな卸資産変動に伴う利益減、売上減に伴う利益減および為替影響により、前四半期比167億円減

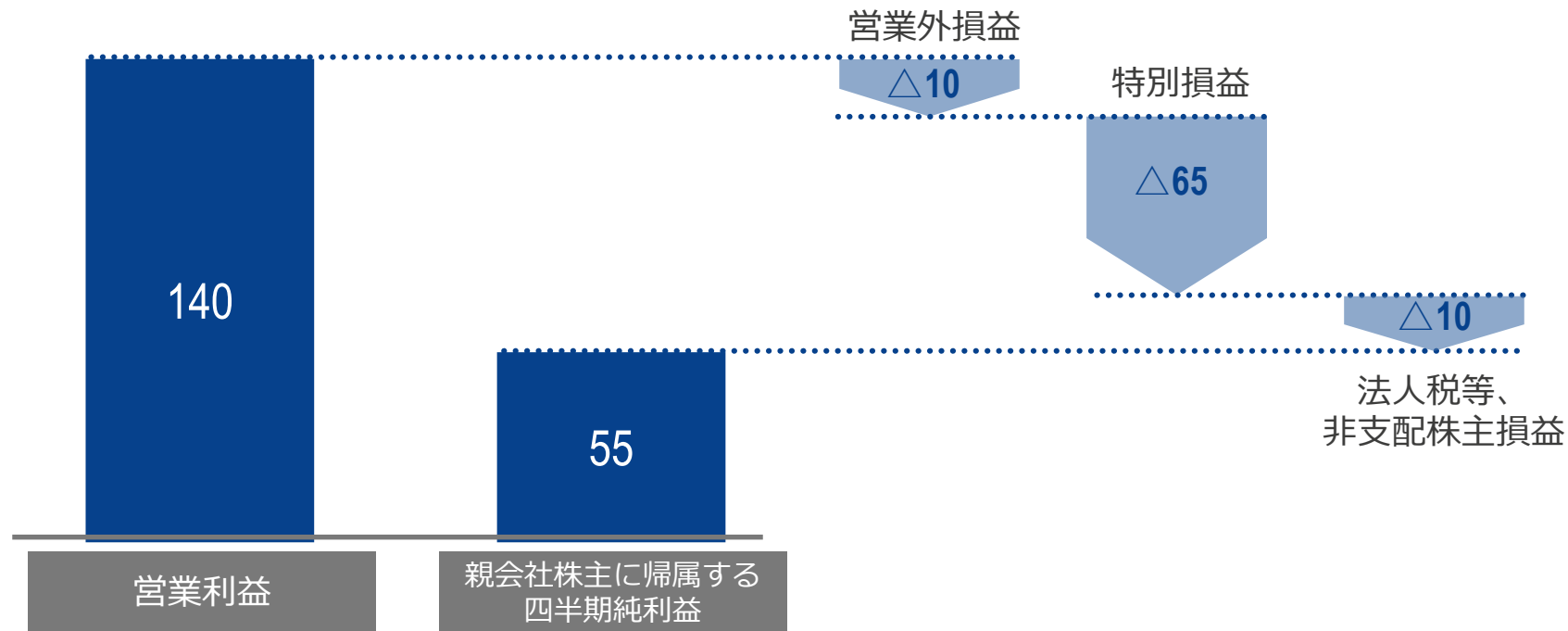


2016年3月期 第3四半期

親会社株主に帰属する四半期純利益見通し

(億円)

- 第3四半期は、生産構造改革に伴う特別損失などがあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億円の黒字の見通し



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、（１）ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、（２）市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、（３）激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、（４）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。